

地域需要創造型等起業・創業促進補助金採択者事例

赤湯温泉ゆかい倶楽部企業組合 【地域需要創造型起業・創業】(山形県)

南陽産の旬な野菜や果実を、地域の漬物名人やこれまで取り組んできた体験工房での実績を活用して商品開発し、南陽の農産物の需要増加と雇用増加を図り、体験と商品化の相乗効果で観光客増加を実現

【事業テーマ】 南陽の旬なものと人を活かした漬物・惣菜工房の展開

【設立日】平成25年8月8日 【創業場所】山形県南陽市

【創業を志した経緯・きっかけはなんですか？】

温泉街の旅館、喫茶店、ワイナリー、床屋、主婦の5名で、赤湯温泉街の活性化を目的にボランティア組織を立上げ、温泉通りの花壇による美化運動、体験工房による地域観光客の交流、若い世代への伝統的な郷土料理の伝承等を行ってきました。

しかし、収益事業を行っていないことから厳しい資金状況が続き、安定して事業を継続発展させるには、収入の確保はもちろんのこと、運営組織が必要となり、地元農産物を利用した漬物、惣菜の開発、製造を手掛けるとともに企業組合を立上げました。

【現時点での事業展望を教えてください！】

体験事業との相乗効果で、地元の人にも観光客にも喜ばれるような農産加工品を作っています。さらに、漬物や惣菜の商品開発をすすめ、南陽ブランドとして行政や観光協会、赤湯温泉旅館組合と連携して販路拡大を目指しています。

【創業補助金活用のために支援を受けた機関】

(認定支援機関) 山形銀行赤湯支店

(支援内容) 融資、運営アドバイス等のフォローアップ

